

留学先大学： パリ第10大学（パリ西ナンテール大学）留学先での所属学部・研究科： 経営・経済学部留学先での在籍身分： Licence3（学部3年生）留学期間： 2010 年 9 月～ 2011 年 8 月神戸大学での所属学部・研究科： 国際文化学部学年（出発時）： 3年本報告書記入日： 2011 年 9 月 8 日**授業について**

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	Oral1	Samia HARANI	3		20	予習復習はほとんどなく、とても楽です。テストは口頭発表です。
2	Ecrit2	Zineb LAADJ	3		40	喋れない学生に厳しい先生です。宿題が多く、授業も進むのが早いので大変です。
3	Atelier	Zineb LAADJ	2		30	グループワークで会話が中心です。発表等はありませんが、テストはありません。
4	Vie Culturelle Français	Samia HARANI	2		40	パリ市内へフィールドワークや劇鑑賞などもあり、とても楽しいです。
5	Introduction au Marketing	Carol GODARD	2		140	大講義なので必死で聞いて必死でノートを取っています。レジュメや板書はありません。
6	Economie des Politique International	ARTIGAS.A	2	3	120	スライドを使った授業でわかりやすい。生徒に対するの質疑が多い。テストは筆記。
7	Intro a la Science Politique	M.VOILLIOT	3	3	250	先生の声小さくて聞きとりにくく、書き取りも大変だった。予習復習は特に必要ないが、配布資料もない。
8	Droit B		2	3	250	配布資料なし。
9	Sociologie Politique de l'Europe Post Communiste	M.ZALEWSKI	3	3	40	講義だが人数は少なめで、興味のある学生だけという感じ。毎回配布資料がもらえる。先生は優しく、授業後に質問すると丁寧に答えてくれる。
10	Sociologie General 2	P.COMBESSIE	2	3	100	毎回授業の初めに前回の授業の質疑応答がある。資料が用意されている。テストは4問程度の長文筆記。

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

クラスサイズは授業によって様々であるが、TD（ゼミ形式の授業）は大体10~20人程度、CM（大講義）は少ないもので50人、多くて300人ほどの学生が受けているものもある。学年が上がるにつれて、クラスサイズは小さくなる。成績評価も授業によって様々。現地の学生はほとんどがラップトップ持参で授業を受ける。前の方に座っている学生は、やはり真剣に授業を受けている様子であった。

費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

・航空運賃： 200,000円・住居費：（月額） 28,000円 ×（留学月数） 12 ヶ月 = 336,000円・食費：（月額） 30,000円 ×（留学月数） 12 ヶ月 = 360,000円・保険料： 10万円（日本で）+2万5千円（仏で）・その他： 旅行・娯楽：70万 教養：10万 交通：10万 生活その他合計： 225万円 （留学期間全体の費用）

その他 自由に記入してください。(800字～)

帰国後気付いたことだが、1年間自分の育った国と違う文化の国で過ごすことで、それまで当たり前だと思っていた自国の文化や社会を客観的に見るができるようになるのが、長期留学の醍醐味だと思う。私はこの留学以前にも1カ月程度の海外研修や旅行などで文化の異なる数カ国を訪れたことがあるが、1年もの間フランスでその地の住民として生活をしたことは、私の価値観を大きく変えたし、これからの人生にも大きな影響を与えてくれるだろうと思う。語学面においても、特に最後数カ月の伸びを強く感じたので、半年よりも1年の留学を勧めたい。また、私費留学と異なり、大学がサポートしてくれているという安心感や手続きを一人から一人でやらなくてもよいという点などから、当交換留学プログラムは非常に魅力的であると思う。